５年　もののとけ方

なまえ【　　】

◆太郎さんは、水にものをとかす実験を行いました。

１　水 50mL に食塩 10g をつぶが見えなくなるまでとかしました。

次のように、食塩をとかす前後での重さをそれぞれ量りました。
測定ア；食塩をとかす前の水 50mL と食塩 10ｇを合わせた重さ
測定イ；水 50mL に食塩 10ｇをとかした後の水よう液の重さ

（1）測定イの重さは、測定アにくらべてどうなりますか。①から③の中から１つ選んでその番号を書きましょう。

① ふえる　　②減る　　③変わらない

答　【　　】

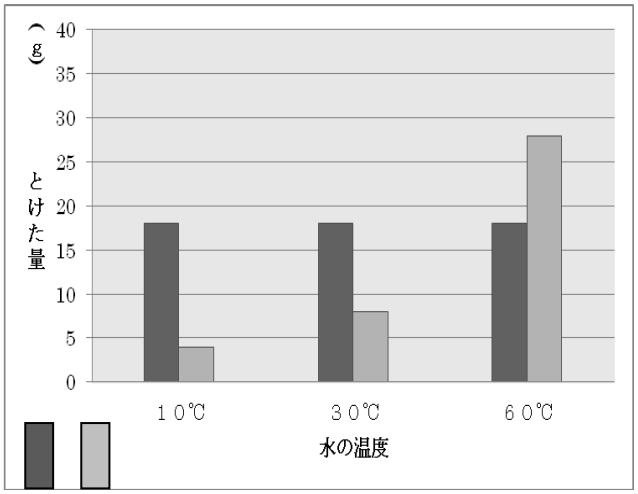
（2）測定イの水よう液の重さは、何ｇになるか書きましょう。

答　【　　】ｇ

２　太郎さんとリカ子さんは、水の温度とものがとける量のちがいを調べました。

水 50ｍＬに食塩とミョウバンをそれぞれとかしたときの量をグラフに表してみたよ。

太郎さん



ア　イ

（1）食塩のとけた量を表した棒グラフは、アとイのどちらか書きましょう。

答　【　　】

リカ子さん

一定量の水にとけるものの量には（　ウ　）みたいね。
このとき、とかすものによってその量は（　エ　）ことがわかったわ。

（2）リカ子さんの言葉で（ウ）、（エ）に当てはまるものの組み合わせを①から④の中から１つ選んで番号を書きましょう

① ウ；限りがない　エ；決まってない
② ウ；限りがある　エ；決まっている
③ ウ；限りがない　エ；決まっている
④ ウ；限りがある　エ；決まってない

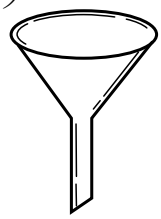
答　【　　】

３　ミョウバンのとけた水よう液が入ったビーカーを一ばんおいておくと、ビーカーの底にたくさんのミョウバンのつぶがあらわれていました。

太郎さん

ミョウバンのつぶをこし取るには、(　ウ　)と(　エ　)を使って、ろかするといいよ。

ウ



エ

（1）太郎さんの言葉の（　ウ　）と（　エ　）に入るなまえを書きましょう。

答　ウ【　　】　エ【　　】

（2）太郎さんは、ミョウバンのつぶをろかした後の水よう液から、さらにミョウバンを取り出そうと考えています。その方法は、「水をじょう発させる方法」と「水を氷で冷やす方法」の２つです。リカ子さんは、太郎さんにそれらの実験について話しています。

じょう発皿に水よう液を入れて加熱するとき、出てきたつぶが(　オ　)必要ね。
ミョウバンのとけた水を氷で冷やすと(　カ　)から取り出せるのよ。

リカ子さん

リカ子さんの話で（　オ　）と（　カ　）の中に当てはまる言葉の組み合わせを①から④の中から１つ選んで、その番号を書きましょう。

①オ：とびはねることがあるので、安全めがねをかけることが
　カ：とけているミョウバンが冷たくなってつぶになる
②オ：どう変化するかをじょう発皿に顔を近づけてくわしく観察することが
　カ：とけているミョウバンが冷たくなってつぶになる
③オ：とびはねることがあるので、安全めがねをかけることが
　カ：水の温度が低いほどミョウバンのとける量は少ないので、とけきれなくなった
④オ：どう変化するかをじょう発皿に顔を近づけてくわしく観察することが
　カ：水の温度が低いほどミョウバンのとける量は少ないので、とけきれなくなった

答【　　】